



# 上勝小学校 人権教育だより

2025  
No. 2

なかよし



上勝小学校は、「心豊かに たくましく 生きる力を育む」という学校教育目標達成をめざし、毎日の学校生活の中で「一人一人を大切にした教育」を進めています。人権教育においても、本校が掲げるめざす子ども像の育成をめざし、学校全体で取り組んでいます。これまでにやってきた子どもたちの活動を紹介します。

## 人権とは…

人権とは「**すべての人が生まれながらにもち、自由で平等に生きていくための権利**」です。

- ・健康で安全な生活がしたい。
  - ・自由に個性や能力を発揮したい。
  - ・目標や夢に向かって進みたい。
- きっと誰もが願っていることです。



また、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」が人権尊重です。

人権を尊重し守るためには、自分がまわりの人の生活を見つめ、心豊かな人間関係づくりを進めていくことが大切です。

## ○授業参観(人権)

人権に関する授業参観を行いました。各学年とも確かな人権感覚を身につけられるように授業に取り組みました。人権課題を全員で考え、友達と活発な話し合いをする姿も見られました。また、自分の考えをもち、それぞれが伝えることができていました。お忙しい中、ご参観いただきありがとうございました。



1年生「かみさまからの おくりもの」



2年生「おかあさんのおなか」



3年生「情報モラル」



4年生「どう解く？」



5年生「言葉のグラデーション」



6年生「SDGsを考えよう」



## ○人権集会（朝の活動）

すくすく健康委員会が中心となって、学校のみんなのいいところを掲示する「上勝っ子の木プロジェクト」を計画しました。そこで、人権集会で1Q 班ごとに、「いいところ探しゲーム」を行いました。ゲームを通して自分や相手のよさを知り、お互いの良さを認め合う温かい雰囲気になりました。目に見える行動だけでなく、その子のもつ優しさや努力、個性を大切に受け止めることの大切さを、子どもたち一人ひとりが心で感じ取る貴重な機会となりました。

また、集会の終わりには、振り返りとして「自分の良いところを教えてもらって、嬉しかった」「これからは、友達の良いところを見つけていきたい。」と、嬉しそうな表情が見られました。



## ○クリスマス集会

6年生が主体となったクリスマス集会を行いました。企画から運営までを担った6年生は、下級生を楽しませようと、クリスマスにちなんだクイズや心温まる劇、全校が一つになったじゃんけん列車など、工夫を凝らした活動を行いました。集会は大成功で、全校児童の笑顔があふれました。異学年交流を通して互いを認め合う心を育む貴重な機会となりました。

特に、6年生が下級生への思いやりをもって準備する姿や、全校児童が協力して参加する様子は、共に生きる喜びと温かい人間関係の大切さを教えてくれました。

本校では、これからも子どもたちの主体性を尊重し全ての子が安心できる、温かい学校づくりをめざしてまいります。

